

科目名 学術論文作成法(二) (2単位)

担当者氏名 中丸 康夫、笠島 真也

◆学習・教育目標

英文国際学術誌への論文投稿を想定して研究結果をまとめ、論理的に記述する能力を養うことを目的とする。本講義では演習を中心に読解力向上を図るとともに、論文作成と記述表現を学び、個々の研究テーマをより深く理解するための指導を行う。講義は、国外での研究経験を持つ複数の担当者によるオムニバス形式で進める。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

科学英語

生命科学

科学論文

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テ ー マ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-4回	学術論文の書き方 1 (中丸)	Materials & Methodsの書き方 1. 英文の実験方法を読んでみる 2. 実験方法のための英文の形（短く書くためには） 3. 英文にできないときは（図や表も使おう） 4. 英文で自分の実験方法を書いてみる（課題提出）	講義において出題された課題に取り組み、次の講義までに完成させて臨むこと。
5-8回	学術論文の書き方 2 (中丸)	1. 10分間英語短文和訳特訓～簡潔で明確な文章を書く訓練 2. 自分のテーマに関連した論文を題材に、図表の体裁と説明文の書き方を学ぶ。 3. 結果のまとめ方。各自、自分のデータを持ち寄り、1つの図表の完成を目指して作業を進める。簡潔な文章で図表を説明するべく、日本語の文章を添削していく。 4. 図表を英文で作成する。	講義において出題された課題に取り組み、次の講義までに完成させて臨むこと。
9-11回	論文作成に必要な基本事項の復習（冠詞）（笠島）	1. 日本人にとって英語の難関の一つである、冠詞の使い方の基本事項を理解する。 2. 冠詞の例外の使い方について理解する。 3. 練習問題にあたって冠詞の使い方を習得する。	講義において出題された課題に取り組み、次の講義までに完成させて臨むこと。
12-15回	学術論文の投稿から出版されるまで（笠島）	1：学術論文の作成にあたって（総論）、実験しながらの投稿準備、投稿先の選び方 2：英学術論文作成の実際（講義担当者の経験から） 3：英文校正、投稿（郵送、電子）、投稿してからpublishされるまでのやりとり 4：英文要旨の作成と添削	講義において出題された課題に取り組み、次の講義までに完成させて臨むこと。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

プリントを配布

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席と演習課題の取り組み方から総合的に判断する

◆その他受講上の注意事項

英和辞書を各自持参すること。大学院生ならばこの際、例文と語彙数の豊富な良い辞書を買うことを勧める。

普段から文献検索を行い、テーマに関連した論文をファイルしておくこと。授業に持参すると良い。

英文論文を読むときに単語の和訳を書き込んで読む癖はやめよう。